

2022 年度業務実績報告書

提出日 2023 年 1 月 19 日

1. 職名・氏名 教授 徳前 元信

2. 学位 商学修士 授与機関 明治大学 授与年月 1987 年 3 月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名 (単位数)	主たる配当年次等 会計学Ⅰ (2 単位 前期 毎年開講) 2 年生
② 内容・ねらい	企業の利益計算の仕組みを理解するとともに、会計情報開示の社会的経済的役割を学ぶ 現代会計の基本的な考え、計算方法を理解させる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	単なる規則の解説ではなく、それを設けられた根拠や背景を解説し、現実の企業の会計行動の新聞記事を配布し、解説することにより、理解や興味が深まるように工夫した。その際に、大企業だけではなく、地元企業の財務諸表も紹介している。自作のプリントを毎回配布した(pdfでも配信している)。また、毎回、GC を活用して、小テストにて出席を確認するとともに、学習理解の確認テストを行い、毎回、コメントを返している。学生の質問にも答える時間を設けた。パワーポイントのスライドを書画カメラで写し、手書きのメモをスクリーンに投影することで学生の視覚効果を高める様に工夫した。学生の学習意欲を高めるため、1 限に設定している。学生の公欠ややむを得ない欠席に対応するため、講義を録画しオンデマンド配信した。
① 担当科目名 (単位数)	主たる配当年次等 会計学Ⅱ (2 単位 後期 毎年開講) 2 年生
② 内容・ねらい	企業の利益計算の仕組みを理解するとともに、会計情報開示の役割を学ぶ 金融商品の会計、リース会計、減損会計など特殊な会計の事例を概説した。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	単なる規則の解説ではなく、それを設けられた根拠や背景を解説し、現実の企業の会計行動の新聞記事を配布し、解説することにより、理解や興味が深まるように工夫した。自作のプリントを毎回配布した(pdfでも配信している)。毎回、GC を活用して、小テストにて出席を確認するとともに、学習理解の確認テストを行い、毎回、コメントを返している。学生の質問にも答える時間を設けた。パワーポイントのスライドを書画カメラで写し、手書きのメモをスクリーンに投影することで学生の視覚効果を高める様に工夫した。学生の学習意欲を高めるため、1 限に設定している。学生の公欠ややむを得ない欠席に対応するため、講義を録画しオンデマンド配信した。最近の企業状況を鑑み、「連結財務諸表」を講義内容に加えている。 学生の学習意欲を高めるため、1 限に設定している。パワーポイントのスライドを書画カメラで写し、手書きのメモをスクリーンに投影することで学生の視覚効果を高める様に工夫した。 学生に現実感を持たせるため、金沢国税局から福井税務署長、福井財務事務所から所長の専門家二人をゲストスピーカーに招き、リレー講義を開催した。この模様は福井新聞(202212.02)に取材され掲載された。 <p style="text-align: right;">【ゲストスピーカー2人】</p>
① 担当科目名 (単位数)	主たる配当年次等 現代会計学演習Ⅰ (4 単位 毎年開講) 3 年生
② 内容・ねらい	現代の社会や経済における会計の仕組み・役割を考える。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

会計計算とともに、企業行動をも取り入れ、現実の企業・組織の生態を観察するとともに、それを会計理論や経営理論の面から跡付けた。会計を、企業や組織、そして社会を見る眼として養った。また、経営や経済に関する新聞などのニュース記事を取り入れることにより、実務と理論がつながるように努めた。履修生のニーズに応え、会社の記録計算形式としての簿記を学んだ。また、会計と不可分な企業戦略や経営理論の涵養に努めた。学生のキャリアを考えさせる一環として、簡単な企業研究も実施させた。貨幣博物館を見学するなど現実感のある学習に勤めた。

【フィールドワーク 3件】

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

会計学特論演習 (大学院 2単位)

②内容・ねらい

会計学を素材として、社会人大学院のための思考実験を行った。マッキンゼー・アンド・カンパニー『企業価値評価』(上下2巻)などをテキストに企業価値を向上させる取り組みを考えたとくに会計数値で評価するだけではなく、それを管理し、向上させる手立てを考えた。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

単なる制度・理論の解説にとどまらず、そこに潜んでいる基本思考の転換を視点に企業価値を向上させることを考えさせた。また現実企業の数字を用いて実態を分析した。

社会人院生、2021年度1名、2022年度1名の修士論文指導を行った。

(2)非常勤講師担当科目

(3)その他の教育活動

公認会計士や税理士、簿記検定などの受験者の質問に答えた。  
また、境准教授が担当する「経営分析論」にて福井県信用保証協会から本学出身のOB・OG3人を招き、信用保証業務の概要、創業へのポイントなどをゲストスピーカーとして話してもらう特別講義の企画や運営を補助した。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

(1)『地方公立大学の挑戦』福井県立大学ブックレット 2020年。

稲沢俊一著再録/進士五十八 徳前 元信

pp.6-10.執筆 pp.11-73.の校訂など

(2)「17世紀から19世紀のフランス会計を研究する意義」は原稿を入れたが、『フランス会計の歴史と制度 - 国際統合化への道筋 -』(白桃書房)として  
2023年6月に刊行される予定 【共著1本】

②論文【査読なし】

「いま、フランス会計を研究する意義」国際会計研究学会スタディ・グループ

『国際会計研究学会年報』2021年度第1・2合併号(通号49・50合併号) pp.71-97.

吉岡正道、藤井秀樹、内藤高雄、Alain Burlaud、金子輝雄、小津稚加子、仁木久恵、徳前元信、曾場七恵、末原聡、弥永真生、若林恒行、渡邊雅雄

【共著1本】

③学会報告

④ その他の公表実績

<p><b>(2)学会活動等</b></p> <p>学会でのコメンテーター、司会活動  ○日本会計研究学会第148回中部部会(2022年12月10日)  統一論題： 現代会計のアポリアとしてののれん会計  山下知晃(福井県立大学)、林 克則(日本公認会計士協会東海会)  野口 倫央(愛知学院大学)  統一論題の座長を務めた  ○包括球学術集会 Global Accounting Association  東京理科大学 2022年7月18日 「事例研究:財務データを紐解く」  吉見弘氏(北海道大学理事・副学長)  藤生 孝一氏(元株式会社ニコン 監査役)  山岸 聡(公認会計士)  統一論題の司会者を務めた</p> <p>学会での役職など  日本会計研究学会評議員(2018年10月より)  地域公共政策学会理事(2017年より)  包括球学術学会副理事長 2017年より  会計理論学会理事(2010年より 2016年 2019年より) など</p> <p>学会・分科会の開催運営  ○日本会計研究学会第148回中部部会(2022年12月10日)準備委員会(委員長)。  対面(本学講堂)とオンラインの併用開催で同学会長の薄井氏(早稲田大学)をはじめ全  国から参加者を得た。なお、統一論題の座長も務めた  統一論題： 現代会計のアポリアとしてののれん会計</p>
<p><b>(3)研究会活動等</b></p> <p>① その他の研究活動参加  (財)産業経理協会調査研究委員・同経営戦略会計研究会、  会計理論学会(立命館大学)、関東会計研究会、会計フロンティア研究会  フランス会計を研究する意義の研究会 包括球学術研究集会  Alain Burlaud 先生(元 フランス会計研究学会会長)による招聘研究会参加  (10/22 東京理科大学対面 10/20 明治大学会計大学院  なおアラン先生とは 6月に刊行する書物の共同プロジェクトで共同研究する)  など</p> <p>② その活動による成果</p>
<p><b>(4)外部資金・競争的資金獲得実績</b></p>

## 5. 地域・社会貢献

<p><b>(1)学外団体</b></p> <p>① 国・地方公共団体等の委員会・審議会  福井県信用保証協会外部評価委員(委員長) 2012年より  福井県信用保証協会理事者選考委員会(委員長) 2017年より   長年、税務大学の通信研修の対面講義(および国税局の審理研修)の講師を務めたことによ  り『感謝状』(税務大学校)を授与された</p> <p>② 国・地方公共団体等の調査受託等</p>
--

③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加 (財) 産業経理協会調査研究委員
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動
⑤ 学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥その他
<b>(2)大学が主体となっている地域貢献活動等</b>
① 公開講座・オープンカレッジの開講 ○大学院経済・経営学研究科 短期ビジネス講座 2022 年を企画運営 テーマ「地元のビジネス講座で学び直しませんか。」 10 月 15 日 (土)、22 日 (土)、29 日 (土) オンラインによる開催 本学教員 (飛田、北島、松岡、中井、内川、徳前) が講師 講師も務めた。「企業と会計について思考実験してみよう」10/23 なお、北陸電力、フクビ化学、会計事務所など多くの社会人の参加を得た 今年度から一定の要件を満たす参加者には修了証を授与した。 ○公開講座「現代会計学入門」 関連教員と連携して、リレーで公開講座を行った。以下は自身の講義テーマ。 2022 年 6 月 25 日 「会計学超入門～会計を通して企業を見る」 社会人・企業人のみならず、多くの高校生の参加を得て好評だった。 など
② 社会人・高校生向けの講座 ○高校向け 福井高校に入試説明会に出向いた。(7 月 26 日の予定がコロナで延期され 8 月 23 日)
③ その他
<b>(3)その他 (個人の資格で参加している社会活動等)</b>

## 6. 大学運営への参画

<b>(1)役職 (副学長、部局長、学科長)</b>
<b>(2)委員会・チーム活動</b>
ハラスメント委員会委員長代理 短期ビジネス講座企画委員 経済学部地域貢献広報チーム委員 (とくに、新たに公式 Twitter を開始し、経済学部の魅力の発信に努めた)
<b>(3)学内行事への参加</b>
全学ミーティング、大学祭 (白樺祭)
<b>(4)その他、自発的活動など</b>
茶道部顧問 コロナ危機を受けて休眠状態にあった茶道部を、学生と一緒に復活させ、大学祭でのお茶会、ワールドカフェとのコラボの茶道体験会など大きな成果を上げた。